

国内の海洋プラスチックリサイクル先行事例

帝人株式会社

長崎県の館浦漁協と共同で
ポリエチレン(PET)製の漁
網を資源化しています。



株式会社セイコーインターナショナル、 伊藤忠商事株式会社など

対馬に漂着する青いタンクやブイなどを資源化し、様々な企業に再生材料として提供しています。



リファインバース株式会社

使用済みのナイロン製漁網を資源化し、再生原料や繊維として供給しています。



株式会社REMARE

ブイや牡蠣養殖パイプなど、
PO(PEとPP)製の漁業プラスチックを資源化し、板材や空間デザインとして提供しています。

海ごみアップサイクル展 出張します

2023年度は国内11か所にお招きいただき開催しました。2024年度も出張できます。お問い合わせください。



日本中の海洋プラスチックを 資源化したい

NPO法人木野環境はみなさんのまちのしくみづくりを支援します。対象を定めて回収したプラスチックを10トン程度集めて破碎するだけでリサイクルの道が拓けます。破碎機の貸し出しもできます。再生原料を使って、自治体の指定袋や企業活動等でお使いいただける用途も提案させていただきます。



発行・編集:NPO法人木野環境 2024
助成:日本財団

海洋プラスチックのリサイクル in 宇和島

今回のプロジェクトの経緯や方法について動画でご紹介



海洋プラスチックのリサイクルを宇和島から！

#見分ける #碎いて運ぶ

漂着する

海洋プラスチックも
資源化する未来を
宇和島から広げよう



NPO
木野環境

日本財團
CHANGE
FOR THE
BLUE
PROJECT
海の未来を変える挑戦

漂着ごみの現状

これまで漂着ごみは、地元の自治体が産業廃棄物処理施設で、焼却されるか、埋立処分されるしかありませんでした。有効活用されることはほとんどなく、処理や運搬に費用がかかっていました。



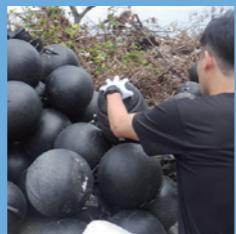
宇和島では黒いブイや、白い発泡フロート、牡蠣養殖のパイプの漂着が目立ちます。海だけでなく山の中などにも持ち主不明の漁業ごみが堆積しているところがあります。

宇和島の現状



海洋プラスチックのリサイクルを宇和島から！

プラスチックの種類ごとに分ければ、リサイクルできます。多く集まる「ブイ」や「牡蠣養殖パイプ」など、用途で分けることで、目当てのプラスチックを選ぶことができます。



選別

回収したブイは、漁協が機械で破碎します。破碎することで、かさを8分の1に減らすことができます。車や船で運ぶ費用が減ります。



破碎

破碎したプラスチックは、フレコンバッグ1袋に約500kg、10トントラックでは約20袋運搬できます。1回で運搬する量が多いほど、運搬単価を抑えることができます。



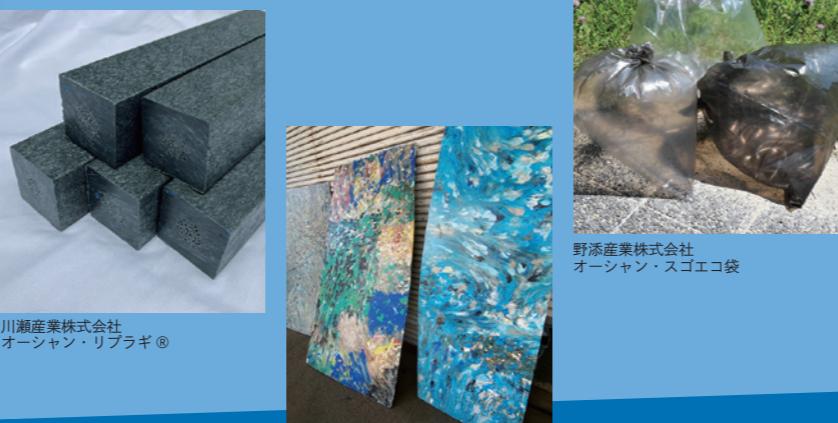
運搬



製品化

海洋プラスチック由来の再生樹脂として様々な用途に

PE（ポリエチレン）とPP（ポリプロピレン）は、汎用性の高い、最も身近なプラスチックです。再生樹脂ペレットは従来のバージン材料と同じようにお使いいただけます。



日用品や家具建築資材などに

袋や建材など日常で大量に必要とされている用途に使えるため、供給先には困りません。大手メーカー（LIXILなど）も、海洋プラスチック由来の再生樹脂を使った製品開発をおこなっています。

宇和島で破碎したブイは運搬し、リサイクル工場で洗浄・再破碎をおこない、フレークやペレットに加工して再生樹脂として販売します。

宇和島産の再生樹脂販売に向けて



ポイントは「選別」と「破碎」

リサイクル企業で再破碎・洗浄・乾燥させ、フレークやペレットという形に成形します。ポリエチレン(PE)、ポリプロピレン (PP) の再生原料として販売できます。